

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹図書館									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	0	7
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	2	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	3,262.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点	電力会社の変更により昼夜の区別不明									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	①	85	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	②	163	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
総計(④=②+③)	④	164	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	49.9	kg・CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧÷⑥(1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出 係数 ⑩	排出量 ^{※1} (t) ⑧×⑩×⑦÷44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	22,202.1	45.00	999.1	0.014	49.8
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(ガソリン)	☐	L	0.0	34.60	0.0	0.018	0.0
	その他(軽油)	☐	L	0.0	37.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	232,740.0	9.97	2,320.4	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}		kWh ^{※2}	0.0	9.76 ^{※3}	0.0	0.489 ^{※4}	0.0	
合 計						^{※5} 3,319.5	^{※6} 163.6	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,471.0			0.251	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,471.0			0.439	0.6
合 計							^{※7} 1.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A207	排出状況の整理・分析・提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C507	温度計等による室温の把握と調整
				C510	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市教育センター暫定施設									
事業所番号	A	1	0	3	7	-	0	0	7	5
事業所等の所在地	〒181-0013 区 市 町 村 名 東京都三鷹市 町名番地以下 新川6-35-28									
事業所等の延床面積	1,335.19		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分 □ 1年未満			
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	0	0	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	42	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	82	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	82	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	61.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化炭素排出量	
					⑥	⑦	⑧=(⑥)1000×⑦	排出 係数	排出量 (t)
							※1	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	10,594.5	45.00	476.8	0.014	23.8
	その他(LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(ガソリン)		☐	L	0.0	34.60	0.0	0.018	0.0
	その他(軽油)		☐	L	0.0	37.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		☐		0.0				
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時) 夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
			☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	120,361.0	9.76	1,174.7	0.489	58.9
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計							1,651.5		82.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	947.0			0.251	0.2
	公共下水道		☐	m ³	947.0			0.439	0.4
合 計									0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の 使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

元の建物の耐震化工事に伴い、平成29年8月より暫定施設へ移転。建物の管理は平成29年4月より行っており、移転前の改修工事に必要な電気や水道の使用が発生している。

(日本工業規格A列4番)